

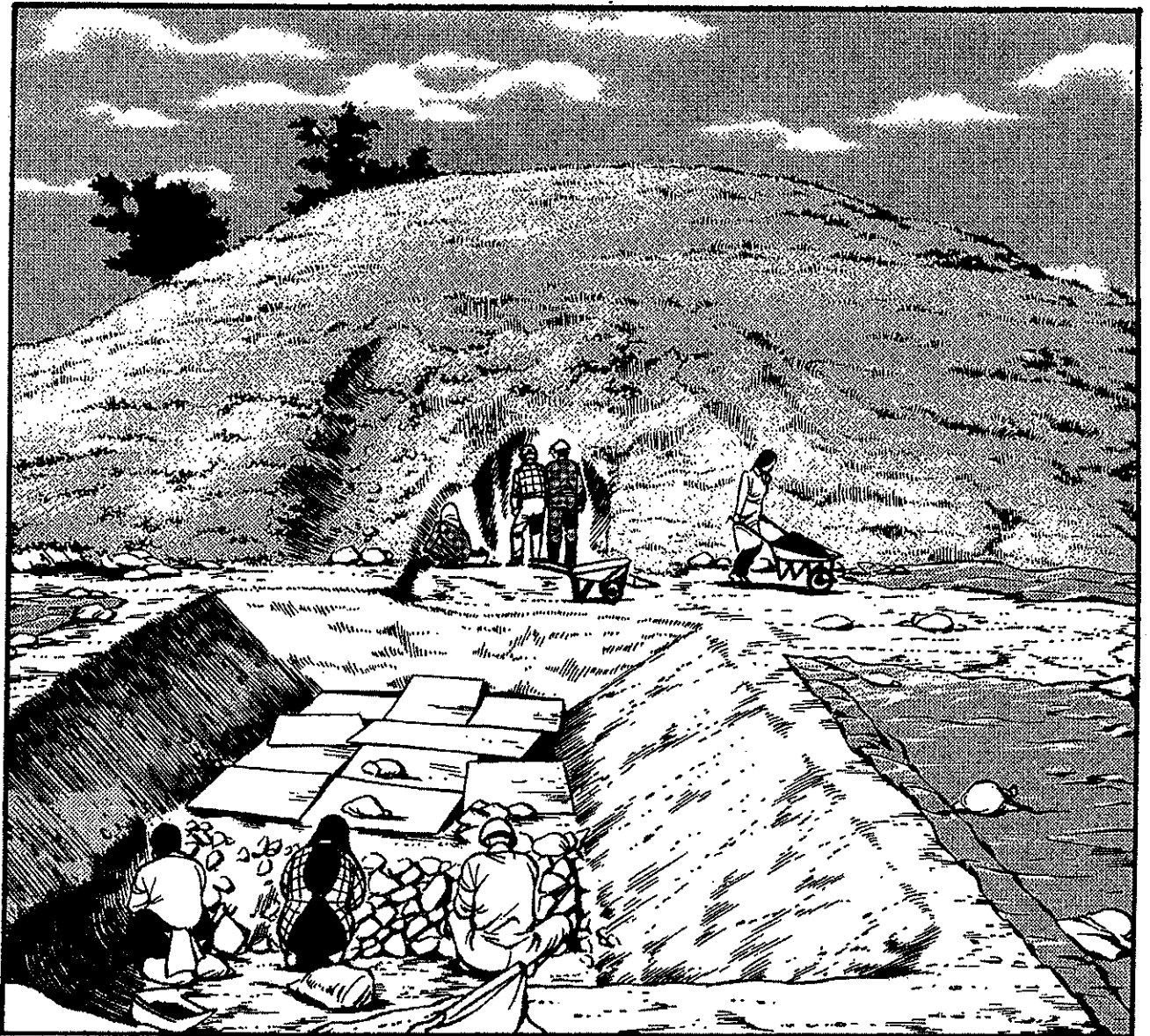
よみがえ

おうほ

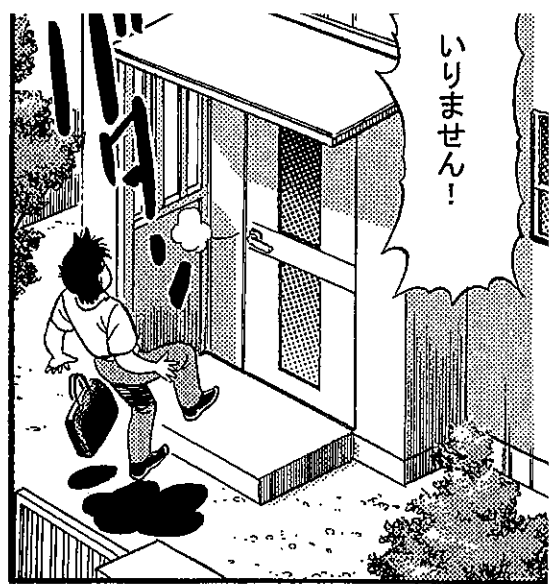
甕れ！王墓

～屋飯大塚古墳物語2009～

作画/渡辺浩行



いません！



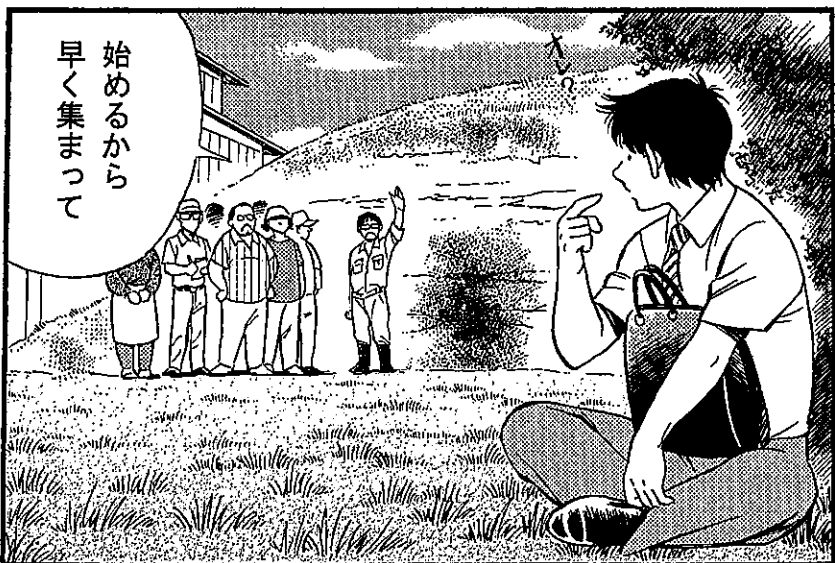
はあ・



やっぱオレ
セールスには
向いてないのかな

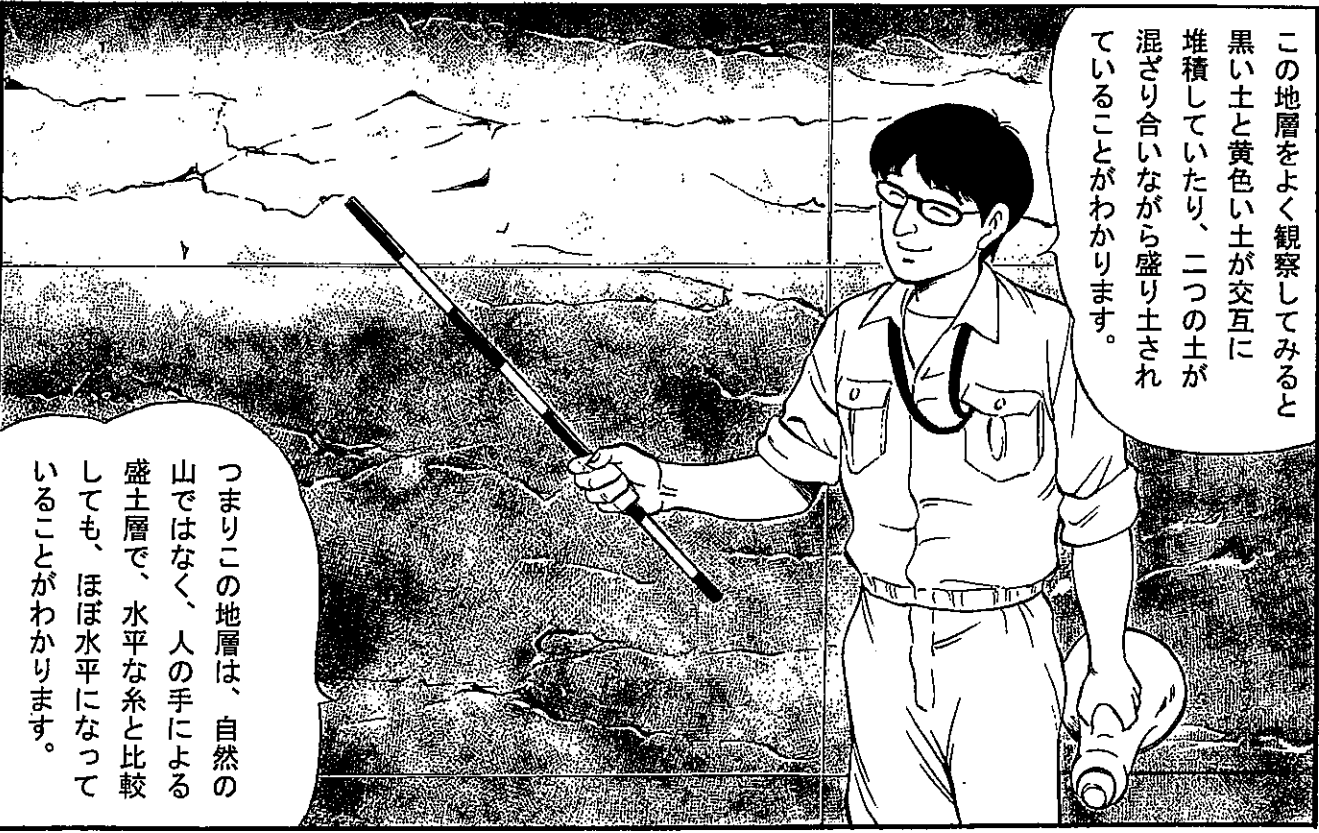


おーい
そのあんた

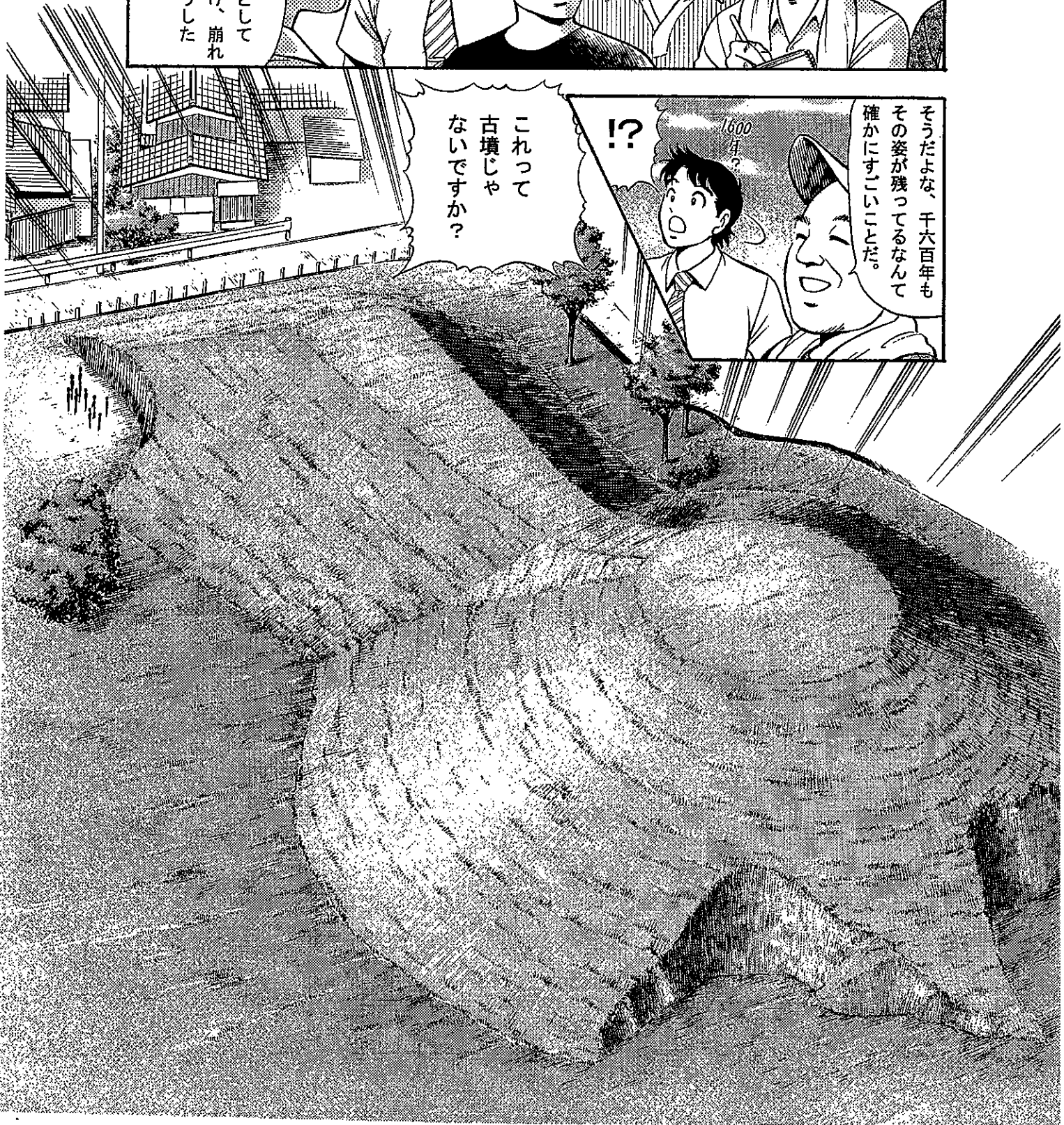
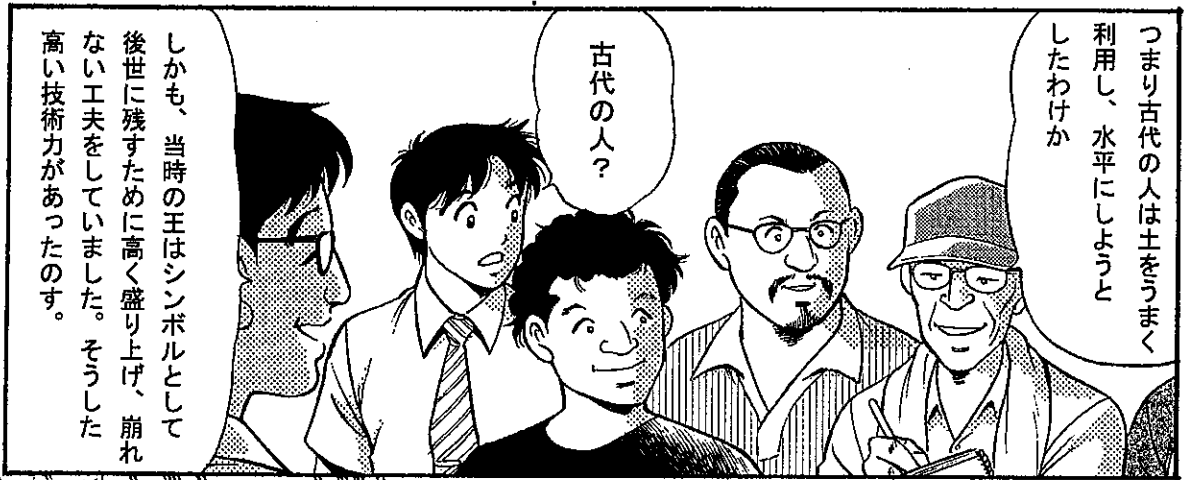


始めるから
早く集まって

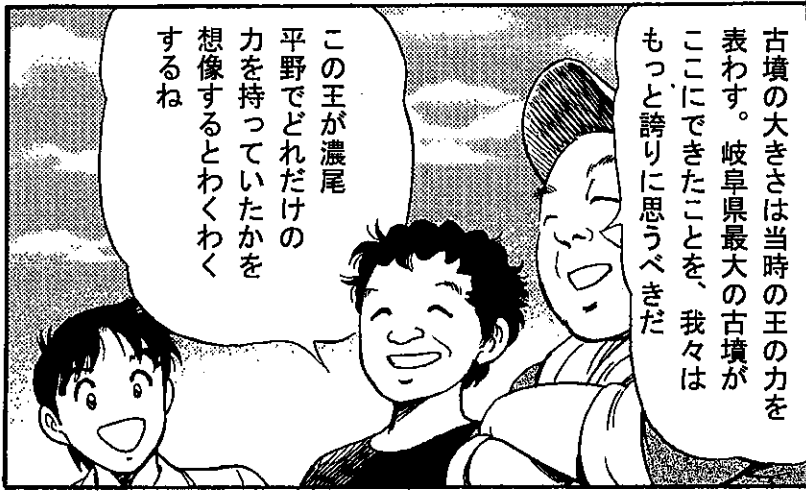
この地層をよく観察してみると
黒い土と黄色い土が交互に
堆積していたり、二つの土が
混ざり合いながら盛り土され
ていることがわかります。



つまりこの地層は、自然の
山ではなく、人の手による
盛土層で、水平な系と比較
しても、ほぼ水平になって
いることがわかります。



これって
古墳じゃ
ないですか？



この王が濃尾
平野でどれだけの
力を持っていたかを
想像するとわくわく
するね

古墳の大きさは当時の王の力を
表わす。岐阜県最大の古墳が
ここにできたことを、我々は
もっと誇りに思うべきだ

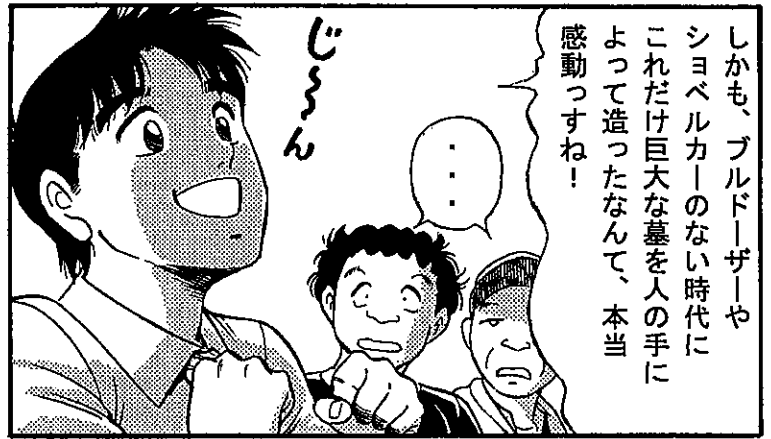


ただの丘だと
思っていました。

あんたこれを何だと
思っていたのかね？

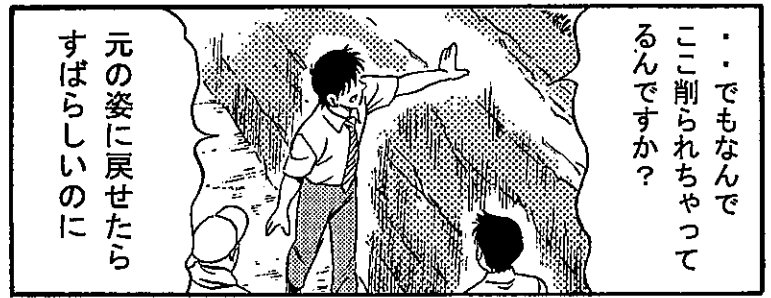


そうだ！僕らの手でこれを
元の姿にもどしませんか？



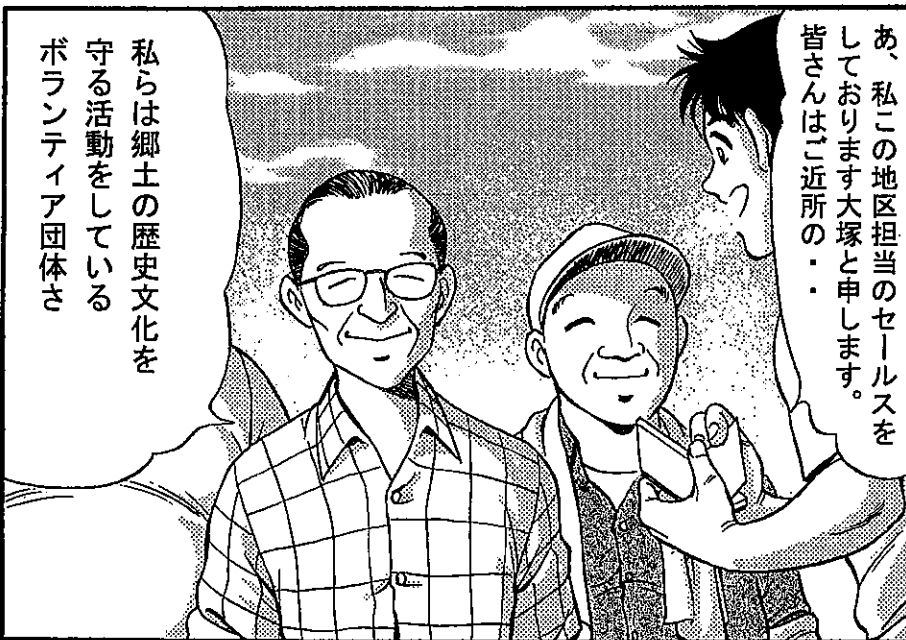
じ〜ん

しかも、ブルドーザーや
ショベルカーのない時代に
これだけ巨大な墓を人の手に
よって造ったなんて、本当
感動っすね！



元の姿に戻せたら
すばらしいのに

・でもなんで
ここ削られちゃって
るんですか？



私たちは郷土の歴史文化を
守る活動をしている
ボランティア団体さ

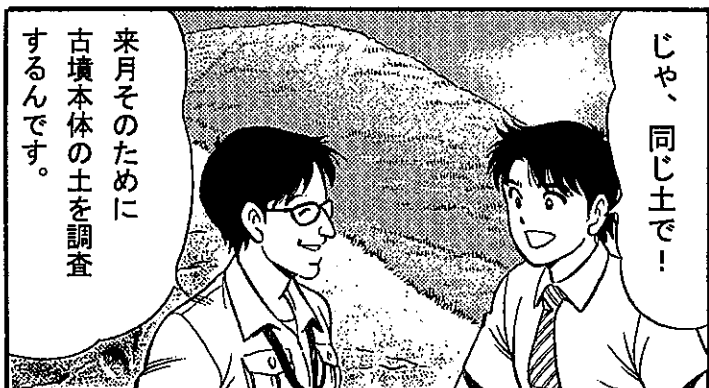
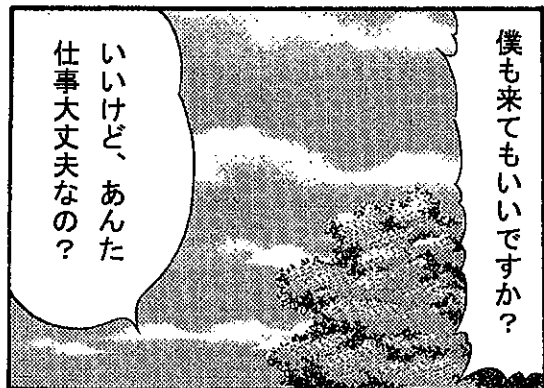
あ、私この地区担当のセールスを
しております大塚と申します。
皆さんはご近所の・



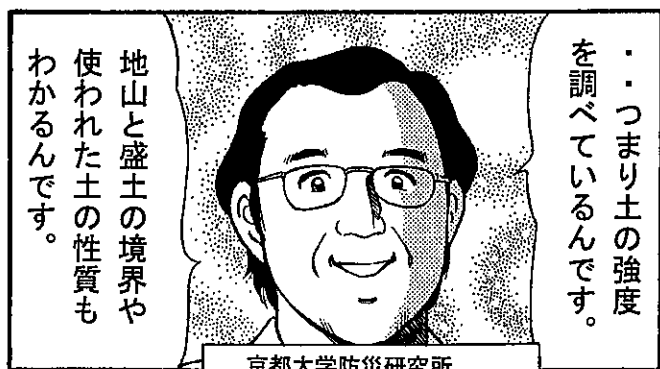
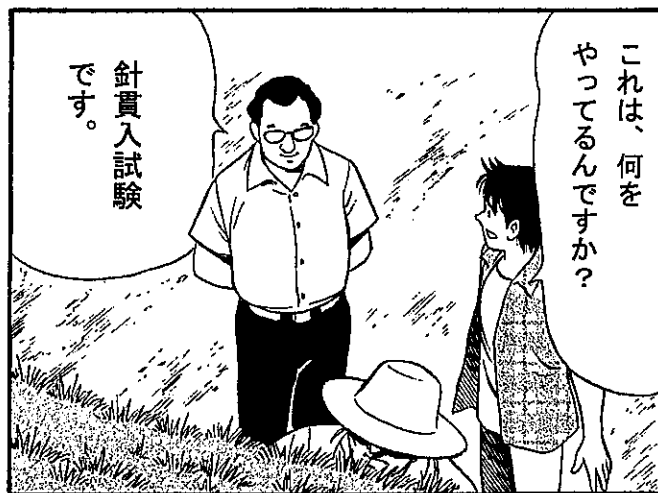
・・・あんただれ？

へ？

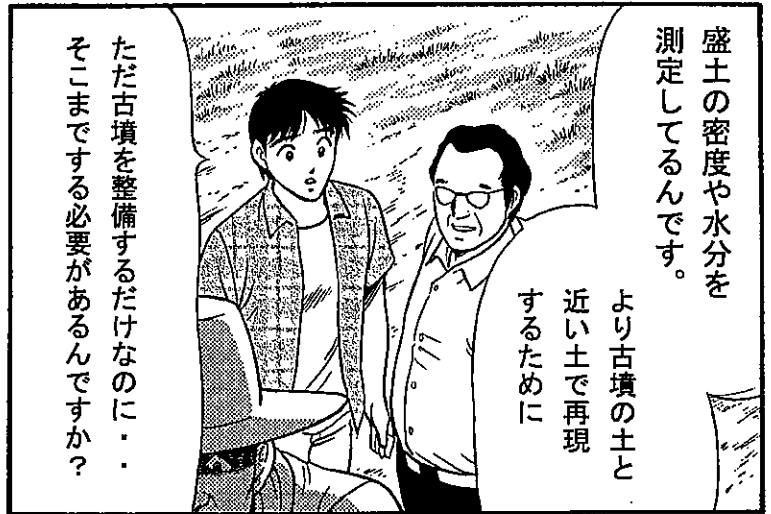
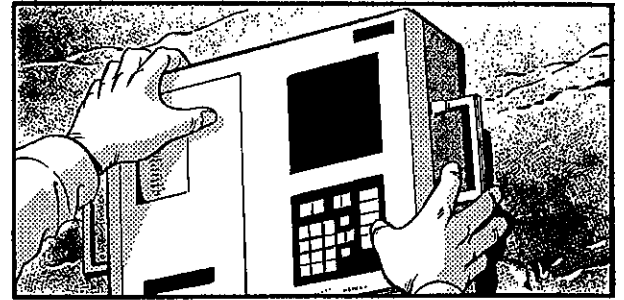
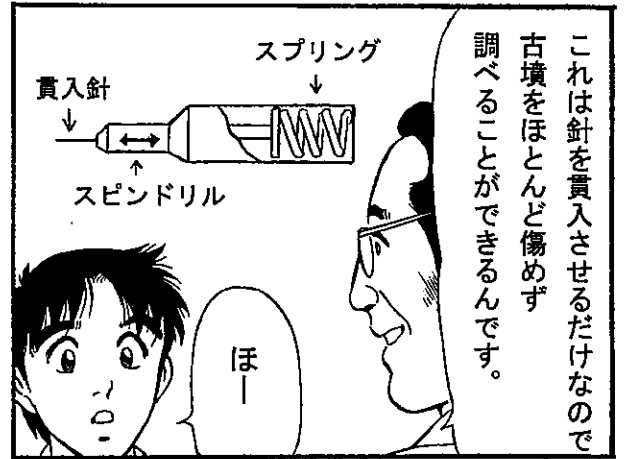
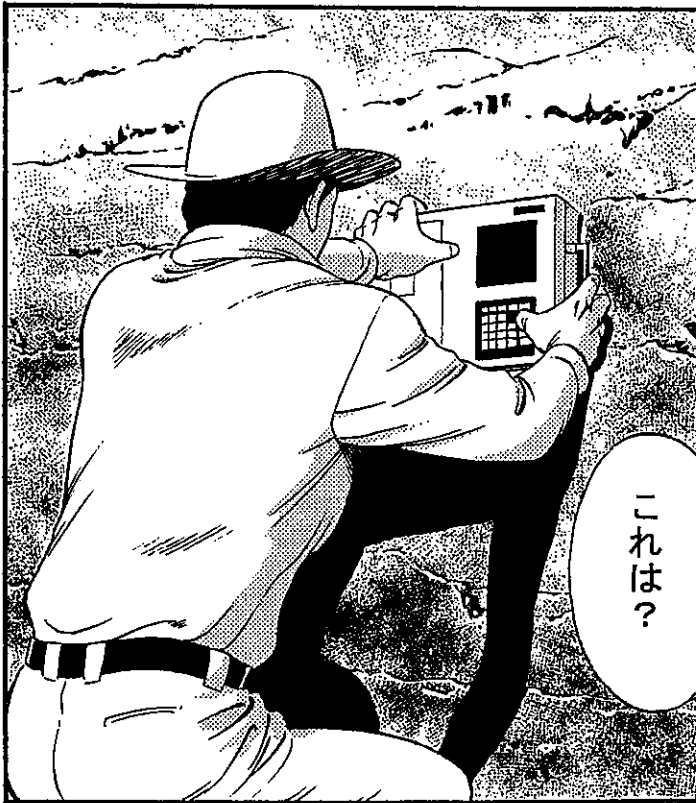
私ら、そのために
集まってるんだが

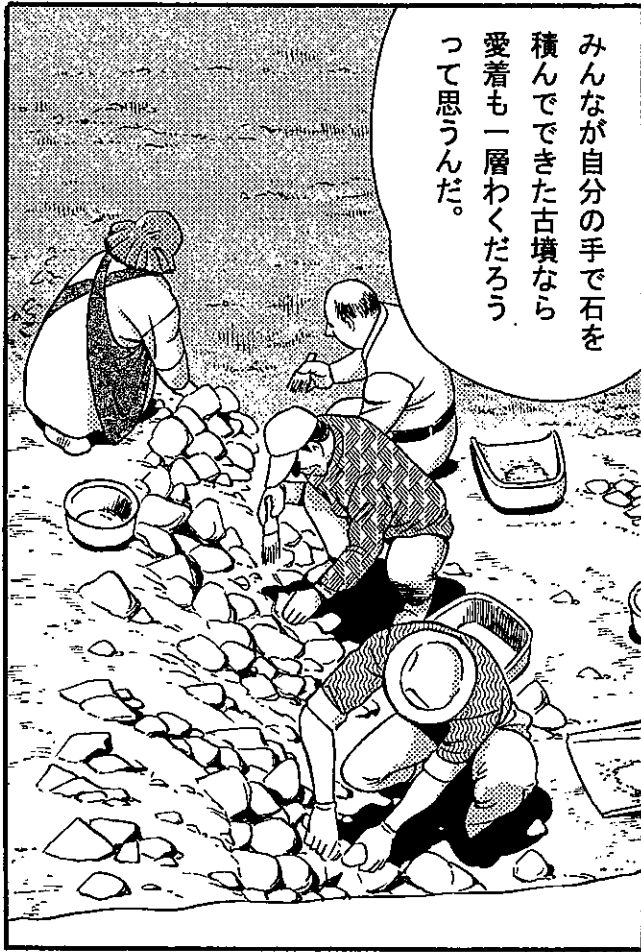


— 7月 —

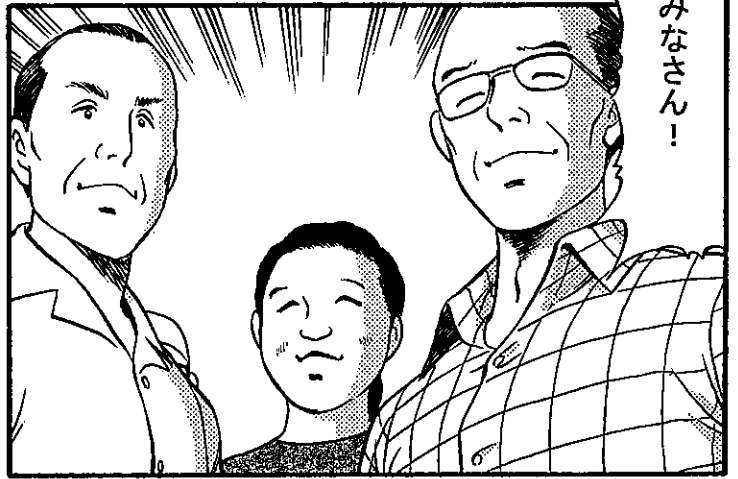


京都大学防災研究所
三村 衛 先生

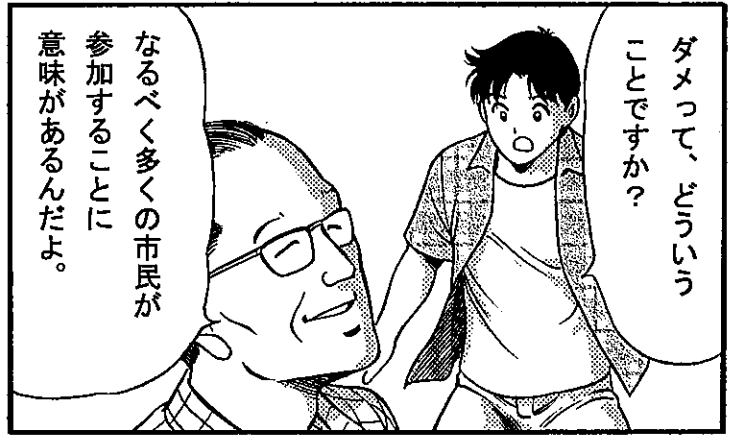




みんなが自分の手で石を
積んでできた古墳なら
愛着も一層わくだろう
って思うんだ。



みなさん！



ダメって、どうい
うことですか？

なるべく多くの市民が
参加することに
意味があるんだよ。



京都大学大学院文学研究科 助教

阪口 英毅 先生

京都大学防災研究所 准教授

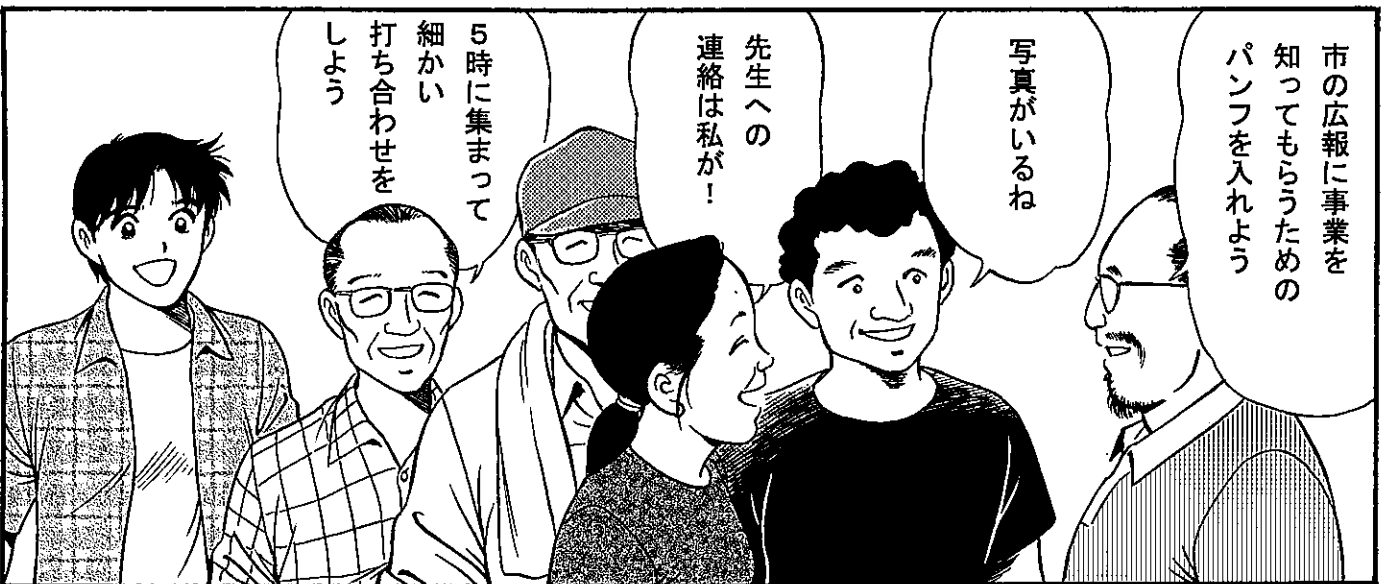
三村 衛 先生

これまでに古墳に携わった
考古学や地盤工学の先生方に
講演をお願いしよう！



大勢の人が参加すれば
その数だけ人々が大切に
するってことか

そのためにはこの整備事業を
市民に知ってもらわなきゃ
ならない。



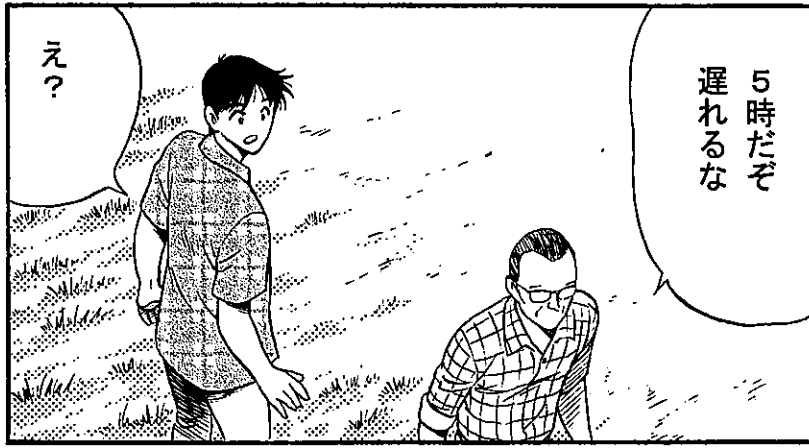
市の広報に事業を
知ってもらうための
パンフを入れよう

写真があるね

先生への
連絡は私が！

5時に集まって

細かい
打ち合わせを
しよう



5時だぞ
遅れるな

え？



いにしえの王の墓を
私たちの手で甦らせる
なんてロマンがあると
思わないか



はい！

は、



キミもこの偉大な王の
力になりたいと思っ
ているんだろ？

漫画「甦れ！王墓」 屋敷大塚古墳物語2009」解説

屋敷大塚古墳の保存整備は、平成二十一年度から始まりました。古墳はこれまでの発掘調査の成果を踏まえ、今後四ヶ年をかけて修復整備していきます。

今年まず最初に行ったことは、土壌の調査や表土などを取り除く作業でした。このことで古墳に使われた盛土の強度や特性を調べるともに、古墳本来のかたちを再確認できました。すぐに工事に取りかからなかったのは、古墳の保存整備工事が単なる土木工事ではなく、国の重要文化財の修復にあたることを重視したからです。社寺仏閣などを修復する場合にはできるだけ同じ材質の木材や工法を採用します。屋敷大塚古墳の保存整備もこうした視点で取り組んでいるのです。

具体的な作業としては、考古学からみた盛土の土層分類のほか、三村衛先生の指導による地盤工学的な調査や試験を導入しました。今後はこうした調査分析を踏まえ、工事に取りかかる予定です。

本書では半年間の整備経過について、わかりやすく伝えようと渡辺浩行先生にお願いして漫画にしてみました。古墳がなぜこの地に築かれて現在に至ったのか、当時の技術や歴史背景は何かなどを考えながら事業にも取り組んでいきます。これからの保存整備と漫画のストーリーの行方にご注目ください。

(大垣市教育委員会 中井正幸)

発行：大垣市教育委員会 文化振興課

作画：渡辺浩行（大垣女子短期大学）

企画：株式会社イビソク（公開普及支援）

協力：三村衛（京都大学）・NPO法人大垣まちづくり

市民活動支援会議 まちづくり工房大垣・歴史観光

グループ